

# 食品リサイクル事業

## 地域密着型の生ゴミリサイクル事業への参画

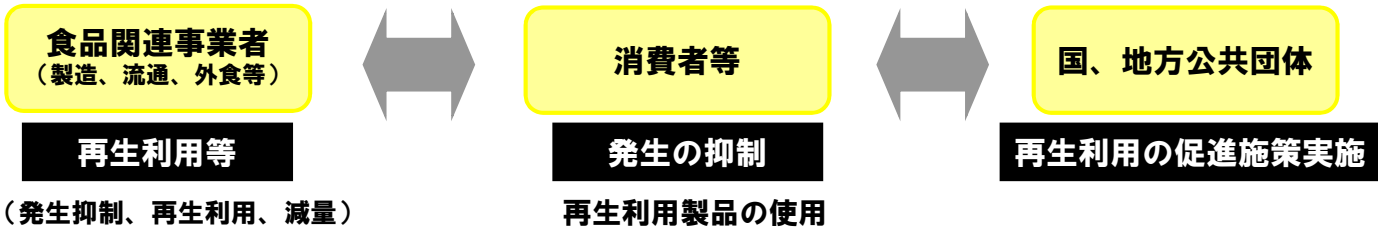


食品リサイクルとは、燃やしている生ゴミを分別し、農地への堆肥や肥料、家畜の飼料、またバイオガスを作ってエネルギーを取り出すなど、資源として再生、再利用することです。

### 1. 今、なぜ食品リサイクルか？

- ① 環境、リサイクルと時代にマッチしている
- ② 食の安全意識の高揚による無農薬作物のニーズ増大  
⇒ 有機農業への関心 ⇒ 有機肥料の不足
- ③ 『食品リサイクル法』の施行による生ゴミ処理のクローズアップ(最終処分場の不足、CO2削減等)

### 2. 食品リサイクル法とは

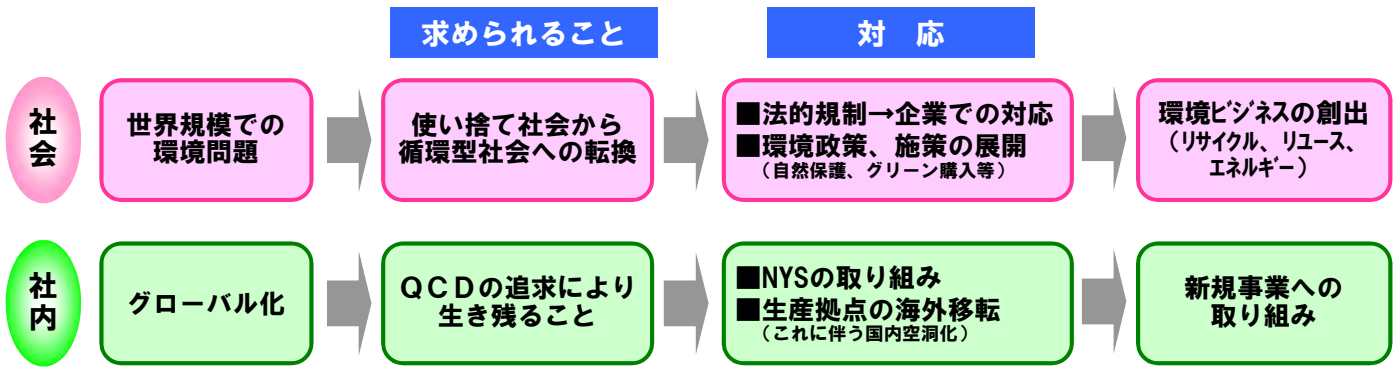


再生利用等の実施率を平成18年度までに20%に向上させる

※対象は年間の発生量が100トン以上の者

### 3. 事業計画への背景と視線

#### 1. 背景



#### 2. 事業化検討における視点

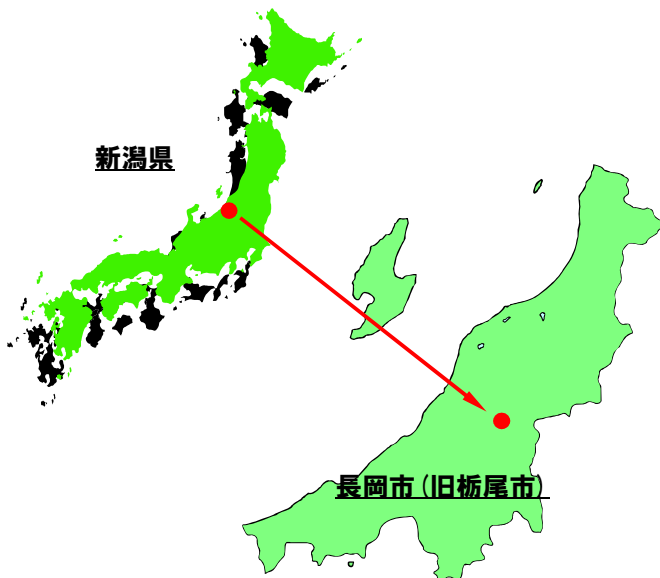
- 地域密着で地域に貢献できる事業
- 地域毎に展開して地域で完結する事業

= 人(雇用)で貢献、製品で貢献

社是に合った  
事業の検討

新潟部品(株)の新規取り組み事業 (=生ゴミ(食品)リサイクル事業)とする  
⇒ 他の関連会社への展開が可能

#### 4. 所在地



新潟部品(株) アグリライフ中越  
〒940-0102 新潟県長岡市人面699-1  
TEL : 0258 (52) 1991  
FAX : 0258 (52) 3857



敷地面積 : 2,885m<sup>2</sup>、延床面積 : 752m<sup>2</sup> ※土地は賃借契約

## 5. 事業内容（概要）

地元（新潟県長岡市内）の食品加工業者（主に油揚げ加工業者）から出てくる**オカラ**を主原料に、これにスーパーから出てくる**野菜くず**や**魚アラ**を独自に混合配分し、10日間ほど処理機及びヤード内で発酵させて有機肥料を製造する事業です。

**1日あたり400kgから600kgの有機肥料を製造し、**地元の生産者（農家）の方々に利用頂き、安全な農作物を生産する地域密着型の循環生ゴミリサイクル活動の一翼を担っています。

### 【長岡市（旧栃尾市）】

旧栃尾市は名産の「**あぶらげ**」（油揚げ）の生産が盛んで、日量4トン（年量約1,200トン）のオカラが毎日発生しており、そのほとんどが**焼却処分**されています。（→水分が多く焼却炉が傷み市でも困っている。）

オカラは栄養価が高く、以前は食用や家畜の飼料として広く利用されてきましたが、食生活の変化や輸入飼料への移行などで、現在では廃棄物として処理されるようになっていました。（→もったいない！）

**オカラは肥料に加工しても栄養バランスに優れております。**

## 6. 製品紹介 「おからスーパー有機」

### 製品



粉末状有機肥料



ペレット状有機肥料  
（4mm内外）

### 用途



水田



畑



果物

日本の土壌は酸性土壌が多く、戦後化学肥料の多用及び中和剤（石灰）の投与により、痩せた土になり、連作障害などが発生。これを防ぎ、更に**安心・安全な農作物を作る為には、上質な有機肥料が求められている。**

## 7. 「おからスーパー有機」の特徴

“おから・野菜・魚” でつくったミネラルたっぷりの有機肥料です。

- ・肥料名称 : おからスーパー有機
- ・肥料の種類 : たい肥
- ・容量 : 15kg (ペレットタイプ)
- ・届出をした都道府県 : 新潟県(662号)
- ・表示者の氏名 : 新潟部品(株)アグリライフ中越
- ・表示者の住所 : 新潟県長岡市人面3699番1
- ・原料 : おから、野菜くず、魚アラ
- ・主要な成分 (含有量等)

### 【肥料効果・特徴】

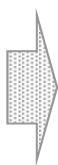
- ・ 100%食品残さをリサイクルして作られた安心・安全な有機肥料です
- ・ 農林水産省ガイドラインの有機農産物生産に使用できます
- ・ 残飯等の塩分、油分の多いものは含まず、食品関連事業者の多様な原材料を使用しているためミネラル分が豊富

### 【施肥基準】

- ・ 稲作 1反当たり100~150kg
- ・ 野菜 1m2当たり500~2,500g
- ※ 施肥量は作物、気象・土壌条件に応じて調整する必要があります。
- ※ この肥料は有機物を含むので播種は施肥後1~2週間程度開けてご利用下さい。

## 8. 製造フロー

### 回収・一次処理・二次処理



### 加工・検査・出荷



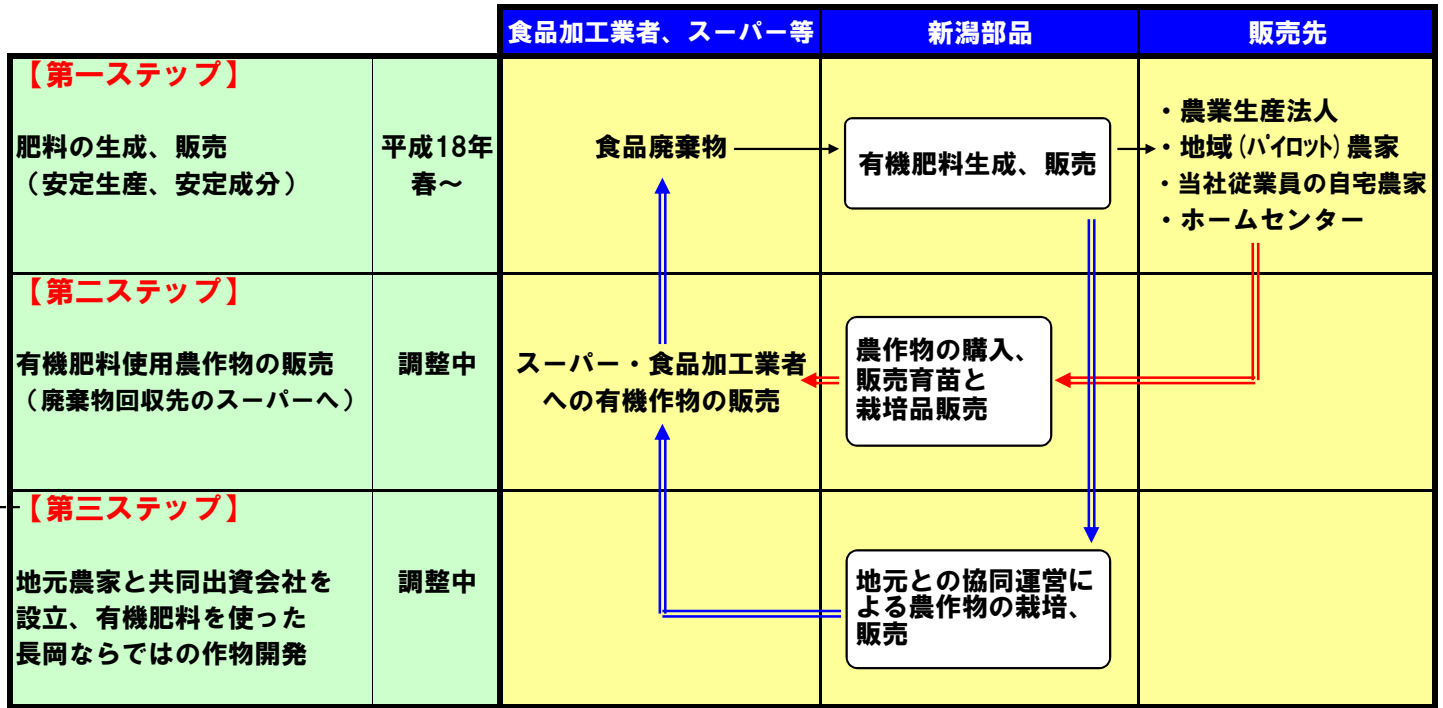
### 品質

- ※ 「有機質肥料」に評価尺度を設け、生産時に反映可能 (→前例無し)
- ※ 二次処理、製品管理に分析評価を用いる製品管理 (→新潟県初)



【参考】 将来展望（循環型社会の構築）

【事業のポイント】  
有機肥料生成をベースに、環境共存型農業を目指した販売網を構築する。



■ 市の農業政策への参画

■ 第六次栃尾市総合計画

1. 観光型農業の推進
2. 後継者の育成、生産組織育成強化
3. 生産、流通販売体制の改善 …… その他

問合せ先



矢崎総業株式会社 地域密着事業企画部

〒410-1194 静岡県裾野市御宿1500番地

TEL : 055 (965) 3505  
FAX : 055 (997) 5196

新潟部品株式会社 アグリライフ中越

〒940-0102 新潟県長岡市人面699-1

TEL : 0258 (52) 1991  
FAX : 0258 (52) 3857